

岡崎市立羽根小学校
柴田美枝

同時進行型



実践テーマ

絵本の絵を大写しにしたり、ワークシートを拡大したりして、絵本の筋や友だちの書いた手紙の内容を共通理解する。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

- 導入：図工で制作した石の作品を電子黒板上に提示し、石で遊んだことを思い出す。（興味・関心を高める）
 展開：絵本の中の小さい絵を電子黒板に拡大し、ブックトーク※を聞く。（お話の理解を助ける）
 まとめ：子どもの書いた手紙をボード型電子黒板に提示し、絵や文を拡大して見せる。（いろいろな感想があることを知らせる）

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 図工で制作した石の作品を電子黒板に提示して、思い出させる（静止画①）。 学習課題「すきなものいっぱい」の提示。 	<ul style="list-style-type: none"> ●写真（石の作品） ●デジタルカメラの写真
展開	<ul style="list-style-type: none"> 「あたまがつまった石ころが」の本の紹介（実物①）。 「たがや」の本の紹介。 「絵描き」の本の紹介。 「ルリユールおじさん」の読み聞かせを聞き、感想を発表させる 	<ul style="list-style-type: none"> ●実物（本）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物に手紙を書くときの宛名や書き出し方をボード型電子黒板に提示（実物②）。 子どもの書いた手紙をボード型電子黒板に提示して、書いた文や絵を発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●実物（手紙）



図工の作品を提示し、石で遊んだことの想起



小さく描かれている絵本の絵を拡大して提示



子どもの書いた手紙をボード型電子黒板で提示

児童の反応・効果

- 絵本に小さく描かれている登場人物を拡大することで、児童の視線が上がり、集中して本の紹介や読み聞かせを聞くことができた。
- 手紙の書き方を提示することで、スムーズに手紙を書くことができた。
- 児童が書いた手紙を拡大して映し出すことで、友だちの書いた手紙に共感したり、感想を共有したりできた。

活用のポイント

- 紹介した本の書名など残しておきたいものは板書で、絵本の絵や動きのある部分は電子黒板でというように、アナログとデジタルの良さを使い分けるとより効果的である。
- アカシアの大木に実際に触れることができると、さらに「ルリユールおじさん」の主人公の気持ちに迫ることができる。

※ブックトークとは、ある一つのテーマに沿ってトークで繋ぎながら何冊かの本を順番に紹介する、読書案内の手法のひとつ。